



砺波総合病院
から

院長
伊東正太郎

市立砺波総合病院
☎32-3320

病院のホームページもご覧ください。

かかりつけ医を 持ちましょう

何でも相談できる
「かかりつけ医」は
心強い味方！

住民の方々が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、市立砺波総合病院の中に患者総合支援センター「おあしす」を開設しました。今回は地域医療連携をご紹介します。「おあしす」では看護師・社会福祉士・事務員が、開業医の先生方や地域の病院・施設や地域担当者との連絡調整・相談業務を行っています。

かかりつけ医とは

かかりつけ医は、日常の診察だけでなく、あなたご自身の病歴や体質などを頭に入れていきます。かかりつけ医を持てば、あなたも身内のように健康や生活面のことなどを気軽に相談できる健康管理の心強い味方になります。さらに、ご家族そろって顔なじみになっていけば、ご自身の病状やご家族の状況などを総合的に判断して、検査や治療方法、さらには手術を受けるべきかなど一人で決断しにくいことや理解しにくい医療についても分かりやすく説明してもらえますでしょう。

かかりつけ医のメリット

今は健康に心配のない方でも、ご自身とご家族の健康を守るために、今後はかかりつけ医を持つておくこと安心です。かかりつけ医を持っていると次のようなとても良いことがあります。

- ・一人の医師と長くつきあうことで、病歴や体質などを分かったうえで診察してもらえます。
- ・カゼなど軽度の病気をいつでも診てもらえます。
- ・遠くまで足を運ぶ煩わしさがありません。
- ・気軽に受診でき、健康上の相談もしやすい。
- ・必要に応じて適切な病院や専門医

療機関を紹介してもらえます。

・家族を含めた日常の健康管理のアドバイスをしてもらえます。

・待ち時間が比較的短く、じっくり診察してもらえます。

・もしものときも、すぐ対応してもらえます。

かかりつけ医を持つと、健康を守るだけでなく、いくつもの医療機関を「はしご」受診する必要がなくなります。その結果、検査や投薬の重複がなくなりますので、不必要な身体への負担や思わぬ副作用の発生を防げます。さらに、医療費の無駄を省くこともできます。特に、高血圧をはじめ高脂血症・糖尿病などの生活習慣病をお持ちの方は、長期にわたる投薬治療や食事管理などが必要なため、身近になんでも相談できる医師がいるととても安心できます。



かかりつけ医を持つには、どうすればいい？

かかりつけ医を持ちたいと思っても、具体的にはどうすればいいのでしょうか。その時には、市立砺波総合病院の患者総合支援センター「おあしす」にお任せください。

当センターは病院正面受付に設置され、その一角では、地域の先生方の診療情報を簡潔にまとめた「連携医療機関紹介リーフレット」（現在約110か所）を地図とともに公開しています。このリーフレットは、近隣医師会の全面的なご支援ご協力のもとに作成したもので、どなたでもご自由にお持ちいただけます。先生方の顔写真も載っけていて大変親しみやすい構成になっています。

当センターは、患者さんの入院から退院まで、さらには退院して地域に戻られてからも、患者さんやご家族の立場に立って、安全で安心な切れ目のない医療や看護・介護を受けられるよう支援しています。その業務の一環としてかかりつけ医を持つお手伝いもしています。かかりつけ医をお持ちでない方は、気軽に患者総合支援センター「おあしす」にご相談ください。